

サル柵 チェックリスト

(1) 共通事項

① サルが柵を登る時に感電させる

※支柱も通電する電気柵が特に効果的

② 柵の高さは、1.5m以上

③ 柵の周囲に飛び移れる高い木等がないようにする

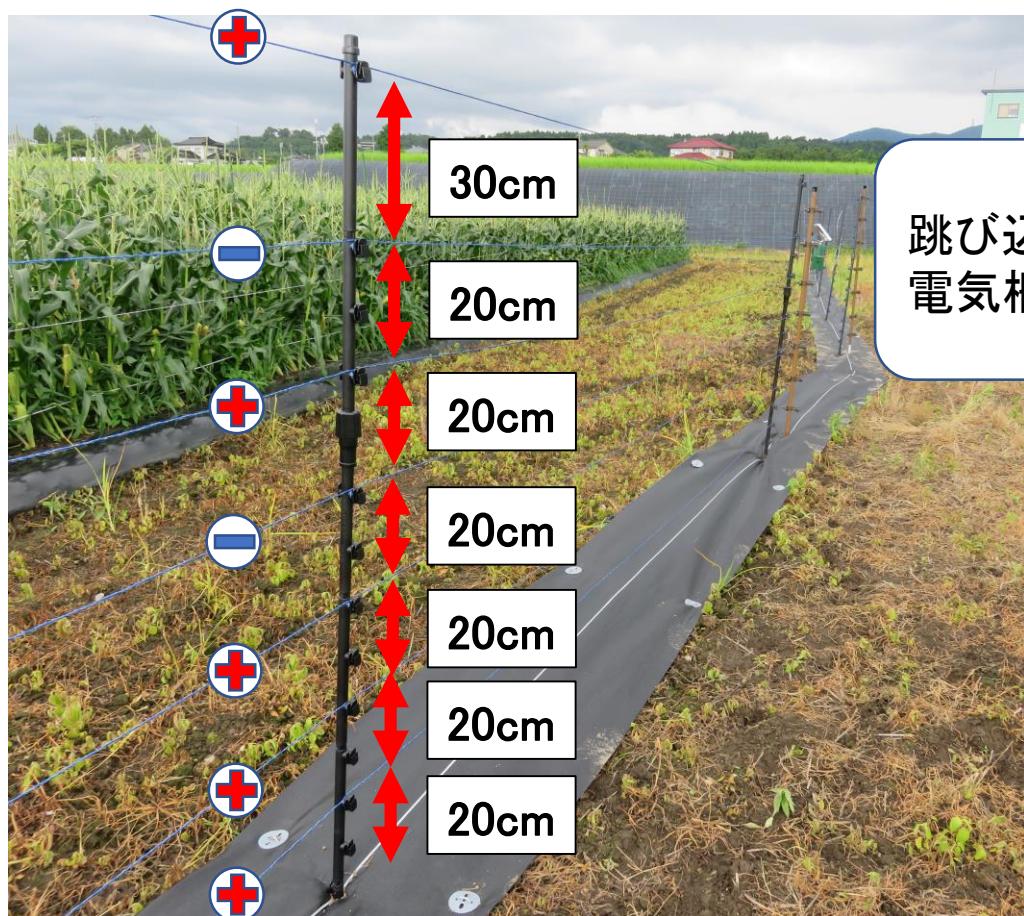


コイルや
アルミテープ付き

(2) 電気柵

① 7段張り以上 (地面から20、40、60、80、100、120、150cm)

※サルが掴みやすい位置にマイナス線 (地面から80、120cm)



跳び込みによる侵入を防ぐ場合は、
電気柵と作物の間にネットを設置するのも有効



② 電気柵本器は、柵の内側 (作物側) に設置

※本器を外側 (サル側) に設置すると、イタズラされる場合がある

③ 電線は支柱の外側 (サル側) に張る

※タイガー (株) はガイシを外側、(株) 末松電子製作所は輪を作物側に向ける

④ 電圧は、4,000~8,000Vで通電

電圧低下や漏電の原因

- ・ 雑草等の接触
- ・ バッテリー切れ
- ・ 電線やアース線の断線
- ・ 劣化
- ・ アース棒の打込不足 (全て地中に入れる)
- ・ 電線の結び目の結線が不十分

⑤ 24時間通電 (夜間のみはダメ)

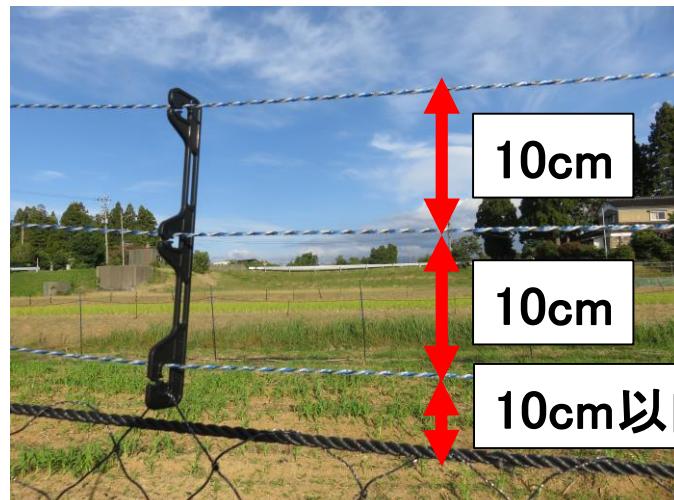
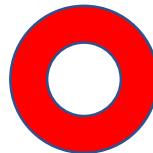
サル柵 チェックリスト

(3) 電気柵+ネット柵orワイヤーメッシュ柵

- ① ネット柵orワイヤーメッシュ柵の目合いは、10cm×10cm以内
- ② 電気柵最下段の電線とネット柵上部との隙間は10cm以内



隙間が広いとサルがすり抜ける



- ③ 電気柵が4段以上の場合、一番上か上から2番目の線はマイナス

どちらかをマイナス線にする



- ④ ネット柵の裾部はペグ等で固定



裾部の緩み



ペグ等で固定

(4) 通電性ネット柵

ネット柵の目合いが正方形になるよう、支柱間の目合い数を調整

※目合いが正方形にならない場合は
ネットを引っ張りすぎか緩すぎのどちらか

